

宇野・玉地区における認定こども園の整備について

1 経緯

本市においては、令和3年3月に策定した「玉野市幼保一体化等将来計画（改正版）」に基づき、就学前教育施設の再編を進めており、この度、宇野・玉地区に立地する宇野幼稚園、宇野保育園及び玉認定こども園について、3園の統合を目指した取組を本格化させることとした。

当該施設については、いずれも築後50年以上が経過して老朽化が進み、安全面での懸念があるほか、修繕工事の頻発など運営の一部に支障が生じており、また、宇野幼稚園では園児数が減少し、一定規模の集団を必要とする教育の提供が困難な状況となりつつある。

今般、これらの課題について、早期に一体的な解決を図るため、3園を統合し、認定こども園を新設する取組を具体的に進めていくものである。

<現施設の概要>

施設名	建築年月	経過年数	建物面積	建物構造	敷地面積	園児数の 推移（人）	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
宇野幼稚園	S46.3	53年	794㎡	RC造	1,703㎡		51	37	37	22	20	15	13
宇野保育園	S41.2	58年	379㎡	木造	1,585㎡		48	45	43	41	45	41	44
玉認定こども園	S35.3	64年	432㎡	木造	1,976㎡		53	50	59	55	54	44	46
合計							152	132	139	118	119	100	103

2 計画の概要

項目	内容	備考
施設類型	幼保連携型認定こども園	
整備・運営主体	民設・民営	事業者は社会福祉法人又は学校法人
建設地	現宇野幼稚園敷地	現園舎は解体し、新たな施設を建設
開園予定時期	令和10年4月1日	最短の場合
施設規模	定員100人程度	定員の内、教育利用は10人程度を想定

新たな園の整備・運営主体を民設・民営とした理由は、本市の財政負担の軽減や事業の迅速化、子育て支援に対する柔軟な対応などの優位性を勘案したものである。

また、建設地、開園予定時期及び施設規模の内容については、この計画を進めるにあたって実施したサウンディング型市場調査（社会福祉法人の2事業者が参加）における参加事業者からの意見等を踏まえ、市議会、教育委員会及び庁内関係部署と協議を行った結果によるものである。

なお、同調査の際に、民間による認定こども園の整備・運営の実現可能性について参加事業者を確認したところ、いずれも認定こども園の事業は実施可能との見解を示している。

3 建設地の概要



4 これまでの主な取組

令和5年9月

宇野・玉地区における幼保一体化の推進に関する協議（市議会）

令和5年11月

新たな認定こども園の候補地に関する協議（庁内関係課）

令和6年6月

サウンディング型市場調査の実施に関する協議・報告（教育委員会及び市議会）

令和6年8月

サウンディング型市場調査の実施（社会福祉法人2団体が参加）

令和6年8～9月

サウンディング型市場調査結果の報告（教育委員会、市議会及び玉野市子ども・子育て会議）

令和6年11～12月

新たな認定こども園の整備方針に関する協議（教育委員会、市議会、庁内関係課及びプロジェクト推進会議）

5 今後のスケジュール（現段階の想定）

（1）方針決定……………令和7年2月中

（2）在園児保護者及び地区説明会……………令和7年4月頃

（3）市公式HP等を活用した広範な意見募集……………令和7年5月頃

（4）新園の運営事業者の公募……………令和7年9月頃